

週間漁海況情報—第30号

平成24年7月30日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

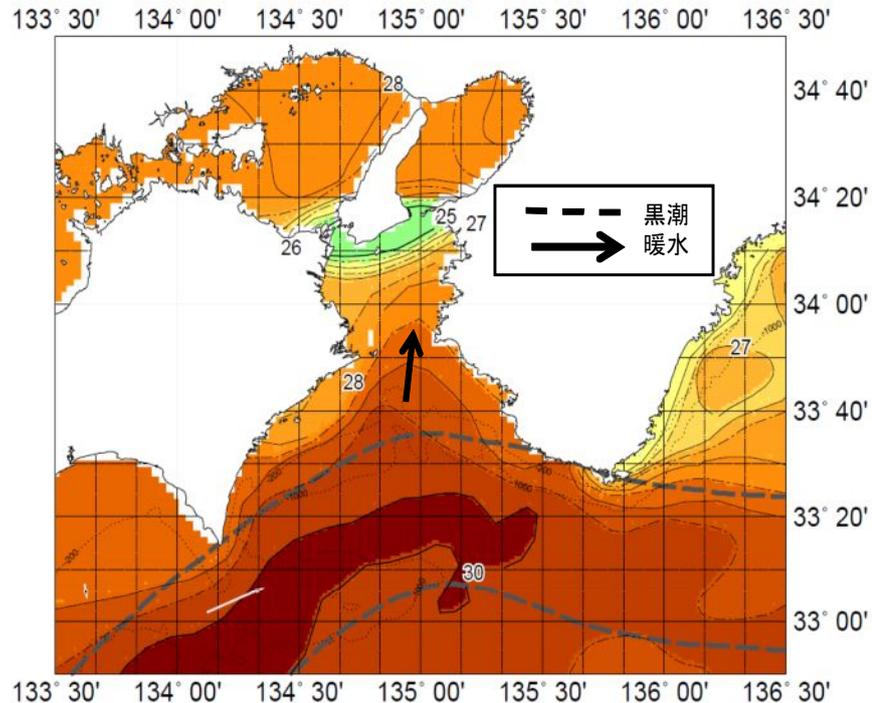
1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H24.7.30）を示した。

黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は、29℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で24℃台、紀伊水道で25～28℃台、海部沿岸で27～29℃台である。

黒潮系暖水が、紀伊水道外域へ広範囲に流入しており、その先端は紀伊水道内に達している。



漁業調査船「とくしま」で7月24、25及び26日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、表層及び10mが「やや高め」の22.9～23.0℃、20m～50m層が「高め」の21.0～22.9℃、100m層が「平年並み」の16.8℃であった。

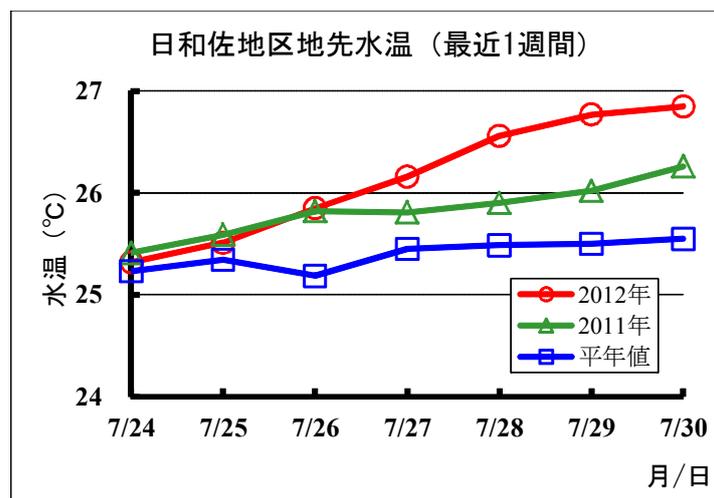
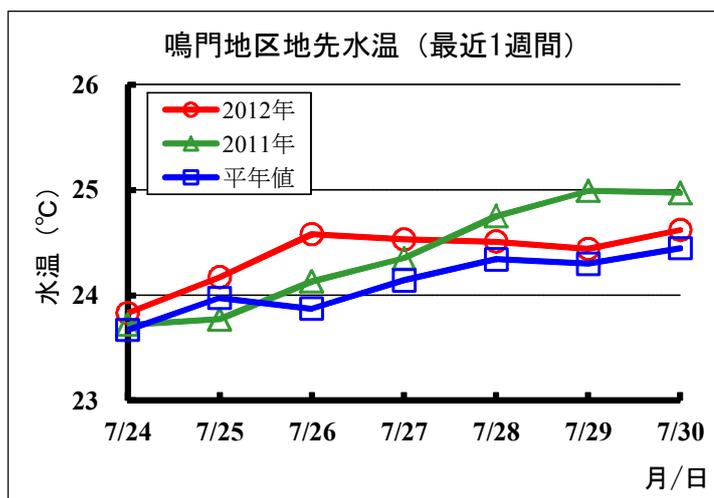
海部沿岸海区観測結果

観測日		水 温						塩 分					
		表層	10m	20m	30m	50m	100m	表層	10m	20m	30m	50m	100m
7/24, 25, 26	今年値	22.9	23.0	22.9	22.5	21.0	16.8	32.5	32.8	33.1	33.4	34.1	34.5
	平年偏差	1.1	1.4	1.7	1.8	1.7	0.1	-0.5	-0.6	-0.7	-0.6	-0.4	-0.1
	前年偏差	1.1	1.8	1.3	1.0	0.8	-0.7	-0.1	-0.2	-0.4	-0.5	-0.4	-0.1

地先水温 最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の23.8～24.6℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の25.3～26.9℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の25.0～27.2℃で推移した。

* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上



2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、中・小主体にアカムツが0.4トン（1日1隻当たり30kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、マメ主体にマアジが0.7トン（同21kg）、ウルメイワシが1.4トン（同63kg）、カタクチイワシが0.3トン（同42kg）、小小主体にカマス類が0.4トン（同16kg）、マルソウダが0.4トン（同9kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大主体にゴマサバが0.2トン（同8kg）、大・中主体にアカムツが0.9トン（同20kg）、マルソウダが0.3トン（同7kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが62トン（同667kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 7月23日～29日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり漁獲量 (kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカムツ	12	357	30	中・小主体
小型定置網		マアジ	34	703	21	マメ主体
		ウルメイワシ	22	1,389	63	
		カタクチイワシ	8	338	42	
		カマス類	26	428	16	小小主体
		マルソウダ	40	365	9	
		釣り	ゴマサバ	29	232	8
	アカムツ	46	913	20	大・中主体	
	マルソウダ	48	312	7		
パッチ網	紀伊水道	シラス	93	62,000	667	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年7月25日～31日は、海部沿岸では、小型定置網でウルメイワシが2.3トン、カタクチイワシが0.3トン、小小主体にカマス類が0.8トン、小小主体にマアジが3.1トン、マイワシが6.3トン、釣りで、大・小主体にゴマサバが0.6トン、大主体にマルソウダが3.2トン、活主体にヨコワが0.3トン、紀伊水道では、パッチ網でシラスが59.6トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖～潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の24～25℃台、日和佐地先で「平年並み」～「やや高め」の26～27℃台で推移する見込み。